

【「学んだことの幅を広げる」という受験勉強方法について】

1. 「学んだことの幅を広げる」ということについて

2025 年 11 月 20 日に掲載した『学んだことを自分の言葉で書く』という受験勉強方法について^{注 1)} というテーマのダウンロード資料の中で以下のことを書きました。

学んだことを自分の言葉で書くとは、例えば、学んだことの要点や要約を自分の言葉でノートに手で書くことです。方法Ⅱの場合には以下のことをする必要があります。

- ①学んだことを理解する
- ②理解したことに基づき要点や要約を考える
- ③要点や要約を自分の言葉でノートに書く

「①学んだことを理解する」という内容は受験勉強をするうえで非常に重要なことです。学んだことを理解していることで合格点が取れる解答を書くことができるからです。さらに、学んだことを理解するだけではなく学んだことの幅を広げることも必要です。

注 1): 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の『学んだことを自分の言葉で書く』という受験勉強方法について」の資料を参照のこと

2. 学んだことの幅を広げる

2.1 学んだことの幅を広げる目的

学んだことの幅を広げる目的は、幅広い技術や知識を身に付けることです。幅広い技術や知識を身に付けておけば解答を考えるための引き出しが増えます。解答を考えるための引き出しが多いほど、例えば、予想していた内容から出題内容が少し外れても解答を書くことができます。ある意味、これは、筆記試験の不合格というリスクに対するリスク管理です。

2.2 学んだことの幅を広げる方法

学んだことの幅を広げる方法の一つとして「学んだことに $+\alpha$ をすること」があります。これは、学んだことを核にして、その関連事項を書き込んだり、それに関して自分の考えや意見を書き込んだりすることです。

例えば、ある教材で「地震対策として、公園や道路などの社会資本に複合的な機能を持たせることが重要である」ということを学んだとします。そこで、この内容をノートに書き込みます。書き込んだら、「具体的にはどのような機能が必要か」、「その機能を持たせるうえでの課題やその解決策は何か」と考え、これらの答えを考えたり調べたりしてこれらをノートに書きこ

むことです。

あるいは、「地震対策として、公園や道路などの社会資本に複合的な機能を持たせることが重要である」という内容に対する**自分の考えや意見を書き込んだり**します。このように、核となる内容に様々なことを書き込むことで、**学んだことの幅が広がるとともに自分の考えや意見が構築**できます。すなわち、**問題を解くための引き出しが増えます**。

「学んだことを理解する」と「学んだことの幅を広げる^{注2)}」ということは筆記試験に合格するうえでの**必須の対策**です。

注2) : 「学んだことの幅を広げる」ことも「ノートを使って勉強する」の内容に含まれます。

以 上